

業種間でバラつきも見えるが

全体的には業況・売上・採算とも回復基調

「藩札」事業、8割が評価

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の155社。2位が「人材育成・確保」の61社。「ニーズの変化への対応」が55社で3位。
- ★ 「総額13億2千万円分（12万冊）発行した三次藩札」について、最も多かったのが「地元での購買につながるのでもいいことだ」の53.3%（121社）。「景気刺激策としては良い」18.1%（41社）と「経済波及効果があり大変良い」6.6%（15社）を合わせ、8割近くの78%（176社）が三次藩札発行事業を評価。
- ★ 「現在の雇用人員」について、3分の2にあたる66.2%（149社）が「適正」と回答。「不足」が28.9%（65社）で、「過剰」はわずか4.9%（11社）。

平成27年10～12月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成28年1月に実施した第103回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。

本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が103回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は231社（小売業68社、卸売業27社、製造業33社、建設業55社、運輸・交通業17社、観光・サービス業31社）で回収率は46.2%。

【概況】

今期（10～12月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲7.9と、3ヶ月前の前回調査から4.4ポイント改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の1.7%、「やや好転」が21.4%で、逆に「やや悪化」が23.6%、「かなり悪化」が7.4%だった。売上D.Iも▲14.5から11ポイント改善の▲3.5。採算D.Iも4.4ポイント改善し▲12.7となり、すべてのDI値が改善した。原材料（商品）仕入価格は20.0と下降傾向。

今回事業所に対し、「今年度総額13億2千万円分発行した三次藩札」について尋ねたところ、約8割にあたる78%（177社）が「景気刺激策」「地元での購買促進」などを理由に評価。特に小売業では、91%が評価し、「経済波及効果はあまりない」と答えたのはわずか7.5%（5社）。小売市場の縮小や外部資本の大型店の出店が続き、今回の調査で唯一、業況、売上、採算とも悪化し、数字的にも厳しい小売業であったが、商品券事業に対しては最も評価が高く、三次藩札が小売業のDI値の下げ幅を最小限にとどめる要因になったと思われる。

消費税の軽減税率の対象品目については、「妥当（許容範囲）」との回答が最も多く全体の1/3（34.7%）を占める一方、「さらに拡大した方が良い」が23.7%（52社）、逆に「軽減税率は必要ない」が25.1%（55社）と意見が分かれる結果となった。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲7.9。業種別では、小売業と建設業を除く4業種で改善。特に、製造業は好調で、平成17年12月期以来のプラス値。卸売業（0.0）と観光・サービス業（0.0）を合わせ3業種でマイナス値から脱却。

売上は、全業種合計で今期▲3.5。業種別では、小売業を除くすべての業種で改善。観光・サービス業の0.0を含め、卸売業（3.7）、製造業（21.2）、運輸・交通業（5.9）の4業種でプラス値。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期20.0と下降傾向。数は少ないものの運輸・交通業でマイナス値を示すなど、原油価格下落の影響によるものと思われる。

採算は、全業種合計で今期▲12.7。業種別では、小売業、観光・サービス業を除く4業種で改善。マイナス値を示さなかったのが、製造業と運輸・交通業で共に0.0。

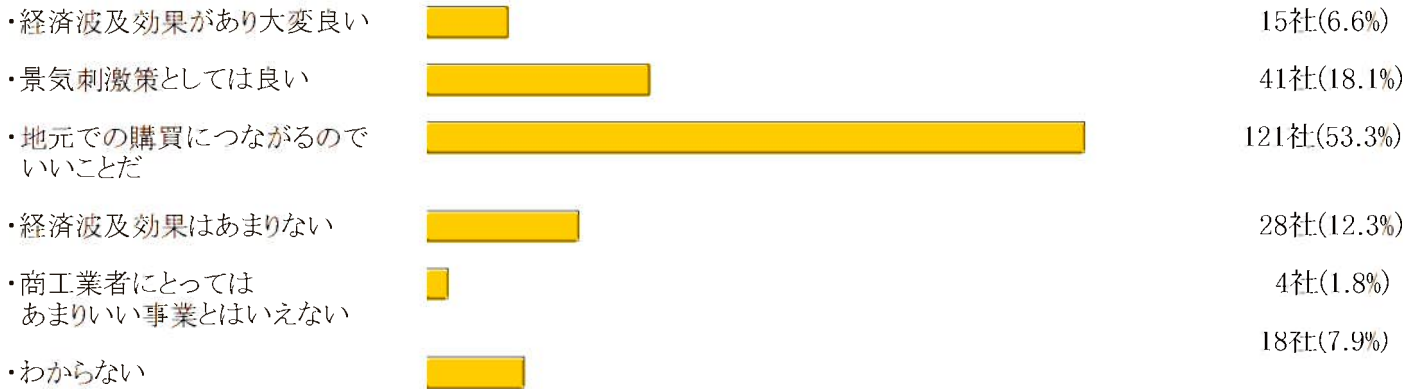
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



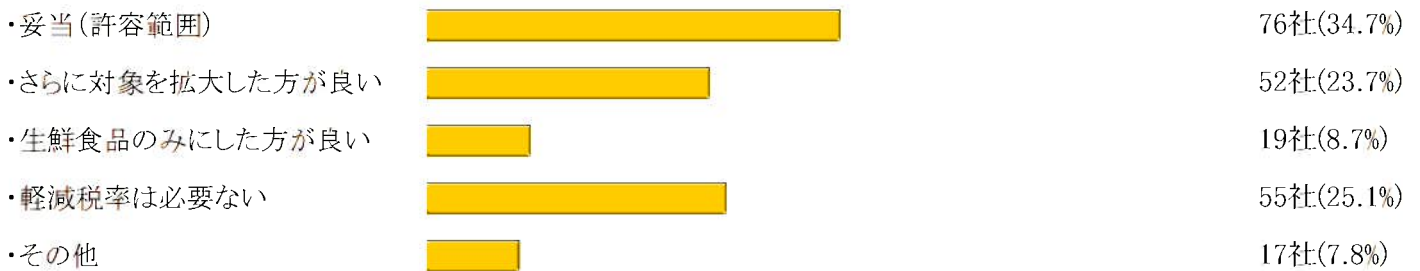
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【総額13億2千万円分(12万冊)発行したプレミアム付き商品券「三次藩札」について(消費者の立場として)】



【消費税の軽減税率の対象品目が「酒類」および「外食」を除いた「生鮮食品」と「加工食品」になりそうな事について】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 7.9	▲ 24.9
小売業	▲ 23.5	▲ 23.5
卸売業	0.0	▲ 40.7
製造業	12.1	▲ 18.2
建設業	▲ 9.1	▲ 23.6
運輸・交通	▲ 5.9	▲ 29.4
サービス業	0.0	▲ 20.7

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 3.5	▲ 25.2
小売業	▲ 22.4	▲ 18.2
卸売業	3.7	▲ 37.0
製造業	21.2	▲ 24.2
建設業	▲ 3.7	▲ 25.9
運輸・交通	5.9	▲ 29.4
サービス業	0.0	▲ 27.6

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

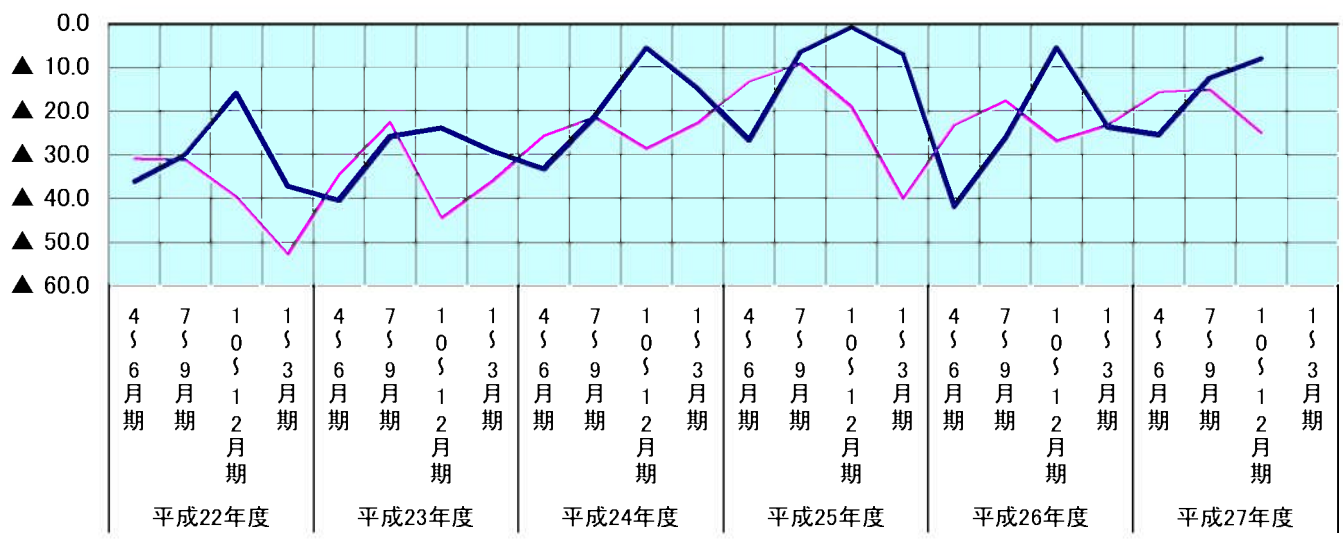
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 12.7	▲ 28.1
小売業	▲ 20.6	▲ 17.9
卸売業	▲ 18.5	▲ 48.1
製造業	0.0	▲ 27.3
建設業	▲ 9.3	▲ 25.9
運輸・交通	0.0	▲ 23.5
サービス業	▲ 16.7	▲ 40.0

(好転割合－悪化割合)

全業種

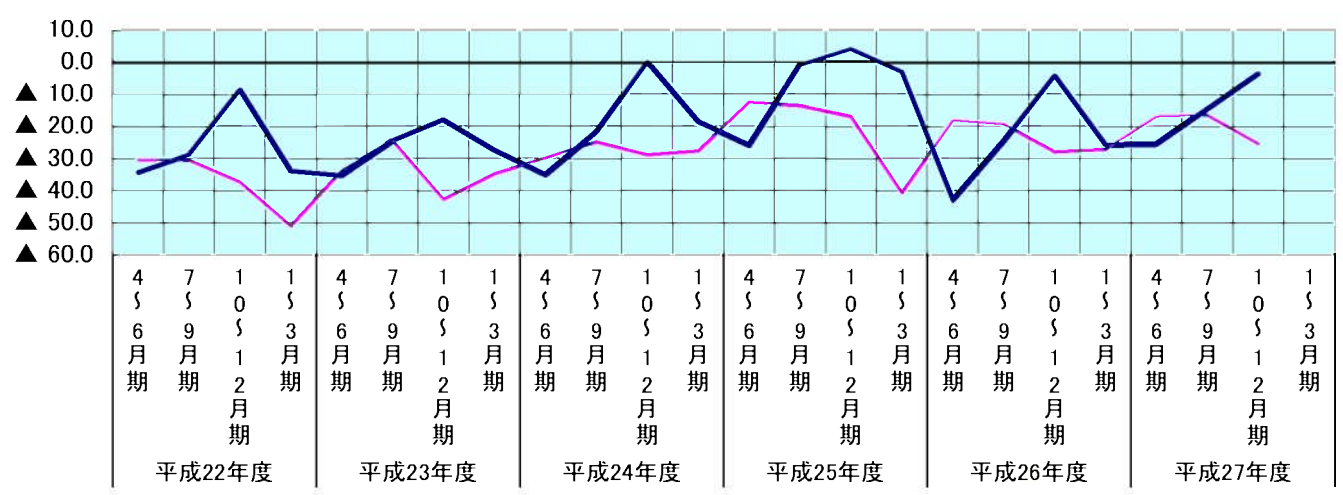
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



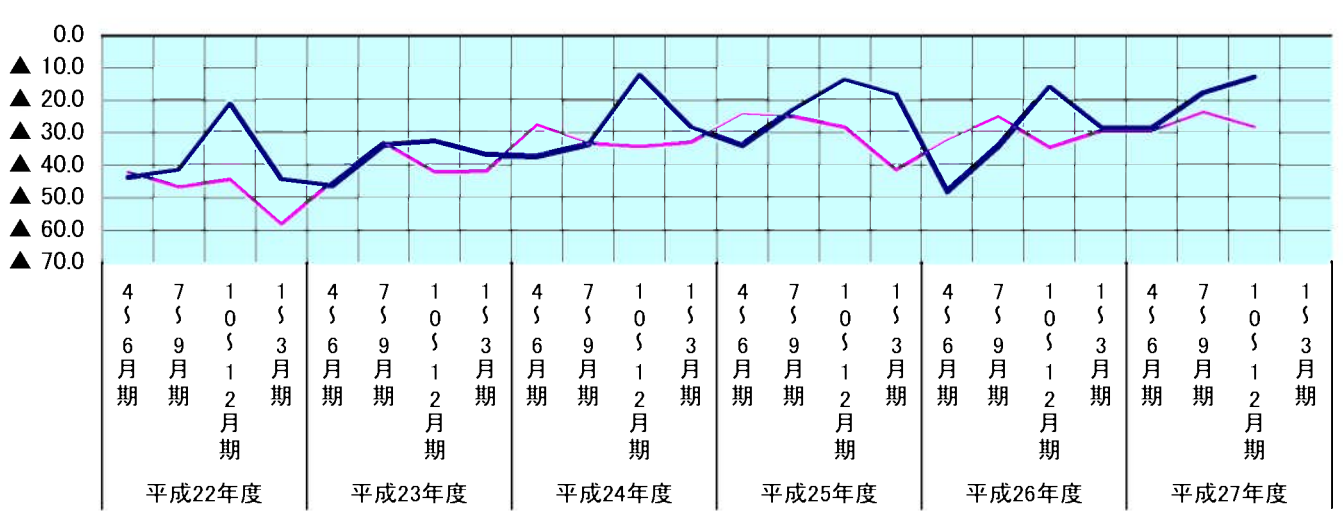
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し







































採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い